

研究・調査報告書

報告書番号	担当
3 4 4	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
<p>Integrated online services for smokers and drinkers? Use of the check your drinking assessment screener by participants of the Stop Smoking Center.</p> <p>喫煙者、飲酒者への包括的オンラインサービス? Stop Smoking Center 参加者の” Check Your Drinking” チェックシートの使用について</p>	
執筆者	
Cunningham JA, Selby P, van Mierlo T.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Nicotine Tob Res. 2006 Dec;8 Suppl 1:S21-5.	
キーワード	
包括的オンラインサービス、喫煙者、飲酒者、スクリーニング	
<p>要 旨</p> <p>背景：</p> <p>喫煙と問題飲酒が重なっていることより、包括的治療モデルの必要性が考えられている。そのモデルにインターネットを用いることはどうであろうか? インターネットを用いた喫煙や問題飲酒者に対する介入が急増することからも、インターネットを使った介入が喫煙者にアルコールに対する問題についてのオプションを提供しうることが考えられる。これらの包括的サービスはさらに禁煙率も増やしうる。なぜなら飲酒が喫煙行動及び喫煙再開の引き金となることが知られているからである。</p> <p>方法：</p> <p>本研究では Stop Smoking Center (SSC; www.stopsmokingcenter.net)の参加者から募集された喫煙者が回答した個別フィードバック評価システム(Check Your Drinking, CYD)の結果について報告する。</p> <p>結果：</p> <p>SSCに登録された対象者(N=7741)に CYD への回答を依頼した(www.alcoholhelpcenter.net)。そのうち 963 名が現在喫煙の状況、喫煙のきっかけとなった行動とともに飲酒状況についての情報を回答した。毎日喫煙者の 1/3 が問題飲酒者 (機会飲酒者は 24%、過去喫煙者は 22%)。現在飲酒者で毎日喫煙者のほとんど (82%) は、飲酒したときに喫煙したい衝動、欲求、思考をしばしばいつも経験すると報告している。</p> <p>結論：</p> <p>この短報は喫煙と飲酒の双方を問題として抱える対象に対するこれらインターネットプログラム参加の意義を探ること、また喫煙と飲酒双方に対する包括的なサービスの有益性について論じるためのものである。</p>	